ついじまつ COMMUNICATION

Vol. 34

築地松情報誌 2018年3月
発行／築地松景観保全対策推進協議会

Vol.34 CONTENTS

○築地松のあるところに
　コミュニケーションあり
○皆さんとともに活動しています！
○協議会事務局からお知らせとお願い
○平成29年度の主な事業概要

築地松のあるところにコミュニケーションあり

いにしえからの長い歴史と風土の中で、そこに住む人々の知恵の結晶により築地松は生まれました。時を経て、築地松景観は出雲地方の特色を表す貴重な散居景観として、その名を全国に知られるようになりました。松くい虫被害や生活様式の変化で築地松の数は減っています。協議会は、このかけがえのない散居景観を守るため、地域住民の皆様と支えあって様々な保全対策を講じながら、築地松散居景観の素晴らしさについて情報発信を続けています。たくさんの人達との交流を通して、築地松を残したい、伝えていきたいとの思いが届いています。

どの角度から見ても、悠久の時の流れを感じることができます。

斐伊川の瑞穂大橋を平田方面（北側）に下りたところに築地松景観が広がります。樹齢140年近くになる松があるかやぶき屋根のこのお宅は、県外から来た人が車窓から見える佇まいに惹かれて寄られることがあるそうです。

「幼い頃に両親が亡くなり、５人姉弟で助け合い育った。築地松は私たち家族を一番近くで見守り、歴史の証明者としてここにある。この景色に心惹かれて訪ねてくれた人とは、昔ばなしをしたり、お茶をすすったりと楽しいひと時を過ごすこともある。これからも心と心のつながりを大切にしたい。」との思いから、このお宅のご主人は築地松を見に来た人を歓迎してくれます。

築地松とかやぶき屋根の佇まい。他では見ることができません。

20年前に植えた松の背丈も屋根の高さを越えました。

伊藤栄さんは松くい虫被害に強い松苗（抵抗性松）を栽培される専門家です。

協議会では住民協定に加入されている方のうち、希望者へ松苗を配付しています。20年以上前に伊藤さんの松苗をもらって植えられたお宅を訪問し、元気に育った築地松の写真を撮らせていただきました。写真をご覧になった伊藤さんは、「わが子の成長を見守るような気持ちでいる。小さな松苗が築地松の大きさまで育つのには時間がかかるが、出雲地方にしかない築地松景観を未来へ残すため協力を続けたい」と力強いコメントをいただきました。築地松再生を目指す私達の頼もしい助っ人です。

松苗栽培の苦労ばなしや管理方法など、たくさんの資料をもとに説明してくださいます。

浸水被害に遭った当時の記録（上の写真）です。現在（下の写真）はこんなに見事に再生されました。まさに築地の上の築地松です。

出雲平野の一番南に位置する築地松。このお宅の方からお話を伺いました。

「昭和９年に室戸台風の襲来で新川の堤防が決壊し、辺り一帯が浸水被害に遭った。我が家の築地松もこの時に全部なくなったため、一から築地をつくり松苗を植え直した。途中で何度も松くい虫の被害に遭い、その度に補植して現在の状態まで成長した。

子供の頃から築地松の成長とともに生活してきた。山陰道の斐川インターを下りてすぐの場所ということもあり、遠方から来た人達は車を停めて築地松を眺める人が多い。JR山陰本線を走る電車の車窓からもよく見える。新緑の季節には列車を背景に築地松の写真を撮りに来る観光客もいる。

そういった人達にも親しんでもらえる築地松は、とてもかけがえのない存在。子や孫の世代にもその思いを受け継いでもらいたいと思っている」と語ってくれました。

国道９号線より南の地域にある数少ない築地松です。陸路で旅する人達はここではじめて築地松を目にする方も多いです。

残暑厳しい９月の初旬、広島県廿日市市にお住まいの秋中さんからお電話がありました。「四季折々に築地松の写真を撮っている。今度は稲刈りの前に撮影したいがまだ刈り終わっていないだろうか。」

秋中さんが撮影したい地域の稲刈り状況を確認したところ、まだ刈られていないようだったので「大丈夫です」とお伝えしました。それからしばらく経った頃、秋中さんから今までに撮りためた築地松の写真が届きました。今号の表紙に使用した写真もそのうちの一枚です。「築地松の周りにまだまだ魅力的な景色が残っている。季節が変わったらまた向かうつもり。」と撮影を楽しまれていることが伺えます。築地松景観をこんなに素敵に撮っていただき、ありがとうございます！

この時の撮影では、ちょうどひまわりが満開だったそうです。

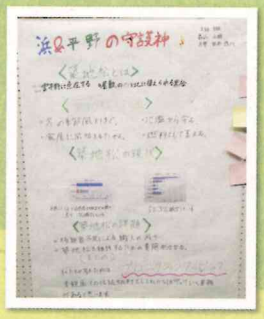
皆さんとともに活動しています！

皆さんとの交流があってこその協議会。この他にも、協議会事務局には築地松に興味を持った方からのご連絡が多数届いています。もっと知りたい！こんなことをしてみたい！と思ったらお気軽にご連絡ください。皆さんのアイデアで築地松景観の素晴らしさを伝えていけたらいいですね。昔の築地松写真や絵画、協議会の活動へのご意見もお待ちしています。

ライトアップイベントの写真、素敵ですね！

梶谷さん（島村町）からいただいた写真です。
毎年このイベントを写真に撮って記録されています。

出雲高校の生徒がSSH（スーパーサイエンスハイスクール）で研究のため事務局を取材！



築地松の再生に向けて、現状の把握から今後の課題まで熱心に調査されました。

ボランティアガイドさん、大活躍！

斐川東中のいにしえ学習
3年生の皆さん（瀬崎勝正さん宅）

散居村交流で砺波市議会の皆さんも視察（稲田輝夫さん宅）

ドローンで撮影 真夏の空から見た築地松

空から見た田園と築地松の見事なコラボレーション！

ナレーションは元NHK松江放送局アナウンサーの堀江清市さんにご協力いただきました。

全国景観会議中国・四国ブロック会議でも上映しました。

築地松を活かしたまちづくり住民協定に加入されている皆様へ
☆協議会事務局からお知らせとお願い☆

- 住民協定加入者に異動があった場合（加入者の変更、築地松がなくなった方等）は、速やかに協議会事務局へご連絡ください。
- 新たに協議会に加入されたい方（築地松の所有者で、地域の皆様と協力して築地松の維持管理、再生に取組むことが可能な方）は事務局までご相談ください。
- 築地松の剪定や防除対策を実施した時は、速やかに助成金の申請をしてください。伐倒の助成金申請は黒松の補植を確約する書面（確約書）の添付が必要です。伐倒の際に松苗の補植をされ、その写真を添付されている場合は不要です。
- 助成金の申請に添付する領収書は、築地松の剪定又は松くい虫の防除対策にかかった経費とそれ以外の経費がわかるように記入をお願いします。
- 協議会では、平成30年度も抵抗性黒松の苗の無料配付を実施する予定です。松の補植が必要な方は、配付時期の前に希望調査を行いますのでご回答ください。

平成29年度の主な事業概要

ボランティアガイド（築地松案内人）

協議会では、築地松の基礎的な情報や歴史について分かりやすく解説していただくボランティアガイドを瀬崎勝正さん（斐川町）と稲田輝夫さん（灘分町）の２名にお願いしています。

今年度もたくさんの観光客や学生、マスコミ関係者等がガイドのもとを訪れました。築地松への溢れる愛情と心温まるおもてなしに感動され、人と人との交流も深まっています。

ボランティアガイドをお申込みの方は、協議会事務局までご連絡ください。

電話：0853-21-6176

ドローンによる空からの築地松景観の撮影

平成29年７月19日（水）に斐川町三分市一本松地内でドローン（小型無人航空機）を使って、空から築地松景観を撮影しました。

出雲コアカレッジの皆さんと元ＮＨＫ松江放送局アナウンサーの堀江清市さんにご協力いただき、稲田のじゅうたんと緑の屏風のような築地松の広がる爽やかな映像を納めることができました。

この映像は協議会ホームページで紹介していますので、ぜひご覧ください。ご感想もお待ちしております！

築地松ライトアップイベント

平成29年11月４日（土）～５日（日）の２日間、斐川町今在家正興（いまざいけしょうこう）と上直江大島（かみなおえおおじま）の特設会場において、築地松ライトアップイベントを行いました。

今年で５回目の開催、４軒のお宅にご協力いただきました。地元のウォーキングの会で散策されたり、撮影に来た方は素敵な写真が撮れたと見せてくださったりと、様々にお楽しみいただけたようです。県外からの来場者も、ちょうど時間が合い珍しいイベントが見れたとお喜びでした。

松苗の無料配付

平成30年２月15日（木）～16日（金）に築地松の補植用として、希望者に松苗を無料配付しました。配付した松苗は松くい虫抵抗性松「くにびき松」で、松くい虫に対して通常の黒松より抵抗力の強いものです。

今後も協議会は築地松の再生に、より一層、取組んで参ります。

（注意）「くにびき松」は、他の松より抵抗性がありますが、松くい虫によって枯れない松ではありません。枯らさないためには、防除対策をしっかり行う必要があります。

築地松景観保全住民協定の認定状況（平成30年2月末現在）

○住民協定数	一般協定	72協定	特定協定	85協定	合計	157協定
○協定加入者	一般協定	1,099人	特定協定	2,193人	合計	3,292人

築地松景観保全対策推進協議会

［事務局］出雲市役所 建築住宅課　〒693-8530 出雲市今市町70番地　Tel.0853-21-6176　Fax.0853-21-6594